

—文部科学省委託事業・学びを通じた地方創生コンファレンス—

学習都市を支える人々のダイアログセッション

「東京コンファレンス」

東京を中心に生起している都市の諸課題と向き合い、学びを通じて多様な人々の自発性を引き出しながら地域実践を育んできた社会教育職員や学習支援者、ボランティア・市民活動関係者、大学関係者、企業関係者等が「オール東京」で集い、「学習都市・東京」の展望を語り合い、交流する機会とすることを目的に、「東京コンファレンス」を開催します。ダイアログ<対話>の主人公は「あなた」です。

2018年

1月21日(日)・22日(月)

東京大学・本郷キャンパス / 22日(月)のフィールドワークは
都内近県各所

参加費／無料（交流会参加者は2,500円）

対 象／社会教育・生涯学習関係者、小学校・中学校・高校・大学関係者、行政職員、ボランティア・市民活動・NPO関係者、企業関係者、地域福祉・保健・医療等の地域活動に関わる方など関心のある方はどなたでも参加できます。

主 催／東京大学大学院教育学研究科

企画・運営／学びを通じた地方創生コンファレンス東京実行委員会

<構成団体>

特別区社会教育主事会・東京都社会教育指導員会

東京23区社会教育ネットワーク

東京都公民館連絡協議会・たま社会教育ネットワーク

参加申込

申込専用アドレスに【名前、フリガナ、所属、メールアドレス、参加希望分科会、交流会参加の有無、フィールドワーク参加の有無と有りの場合はコース】を記入し、送信ください。後日、会場等の詳細をお知らせいたします。申込締切 1月13日(土)



Webサイト「学びのクリエイターになる！」

(<http://manabic.com>) のホームページにある「学びを通じた地方創生コンファレンス」の申込フォームからも、申し込みできます。このQRコードから申込フォームに入ることできます。

学びを通じた地方創生コンファレンス東京実行委員会

住 所

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院教育学研究科内

問合せ専用アドレス

infotokyokaigi@gmail.com

申込専用アドレス

sankatokyokaigi@gmail.com

2018年 1月21日(日) 午前9時30分受付開始 国際学術総合研究棟 地下1階 第5教室

10時～11時 基調講演「**困難を乗り越え持続可能な社会をつくる～地域と人を豊かにする社会教育のチカラ～**」

- ・講師：奥山恵美子さん（前仙台市長）
2017年8月までの2期8年間、仙台市長を務めた奥山さんは生涯学習課長経験者。震災復興には膨大な合意形成の積み重ねが必要だったと語る奥山さんにとって、「学び」とはどのようなものなのでしょう。

11時～12時 **ダイアログ 「自治 × 社会教育 × 地域福祉⇒持続可能な社会づくり」**

- ・奥山恵美子さん、山本健慈さん（一般社団法人国立大学協会専務理事）、牧野篤さん（東京大学大学院教授）
- ・ファシリテーター：桜井高志さん（桜井・法貴グローバル教育研究所）

13時～15時20分 **分科会 教育学部棟、赤門総合研究棟（東京大学構内）**

第1分科会 「“社教” と “社協” のコーディネーターが会合するとき～地域共生への新たな地平を求めて～

都内の“社会教育機関”と“社会福祉協議会”で活動するコーディネーターの具体的な実践についての事例から、両者の接点を探るとともに、コーディネーターとして求められる専門性や力量を高めていくために求められる「学び」を考えます。

- ・事例報告 ①星野美津子さん、牧野有美さん（西東京市ひばりが丘公民館専門員） ・事例報告 ②調整中
- ・ファシリテーター：後藤麻理子さん（日本ボランティアコーディネーター協会事務局長）

第2分科会 探求・社会教育活性化に向けたメガスポーツイベントの可能性

RIO2016 ⇒ TOKYO2020 ⇐ PARIS2024

「東京2020オリンピック・パラリンピック」に向けた取組が、各地で行われています。オリ・パラはスポーツだけではなく、「多文化共生」や「障害者理解」、「地域のつながりづくり」などの課題と密接に関係するため、これからの地域づくりやコミュニティ活性化、そして社会教育の再認識を得られる最大のチャンスでもあります。リオとパリも学びの材料にして、地域に残るレガシーを考えましょう。

- ・ファシリテーター：広石拓司さん（株式会社エンパブリック代表）

第3分科会 「『子どもの貧困』はなぜ見えにくいのか～対話が創る包摂型社会～」

「子どもの貧困」に対する取組が広がる一方で、「貧困の見えにくさ」が課題となっています。低所得だけを課題とするのではなく、家庭の経済的背景によってもたらされる子どもへの影響や、様々な機会の剥奪、社会的な排除に焦点を当てながら、改めて、子どもの将来への不利の蓄積を防ぐために、教育に、地域に何ができるのか、参加型ワークショップを通じて、この問題に取り組む視点を考えていきましょう。

- ・事例報告 ①鈴木祐二さん（杉並区立向陽中学校運営協議会会長／一般社団法人東京キワニスクラブ副会長）
②加藤雅江さん（NPO 法人だんだんばあ代表／杏林大学病院医療ソーシャルワーカー）
- ・ファシリテーター：入江優子さん（東京学芸大学児童・生徒支援連携センター准教授）

第4分科会 「学校教育 × 社会教育～高校生によるまちづくり～」

持続可能な地域を創っていく上で欠かせない、若者のチカラ。まちづくりという舞台上で学校教育と社会教育はどのように連携していけば良いのか、実際に地域活動に参加している高校生の視点も交えながら、みんなで考えていきます。

- ・事例報告 常國佳久さん（東京都立多摩高等学校校長）、川崎佐智子さん、佐藤宏樹さん（同校教諭）
五十嵐優美さん、中野光一郎さん（東京都立多摩高等学校生徒）
- ・ファシリテーター：梶野光信さん（東京都教育庁社会教育主事）
social unit UDON(東京都立多摩高等学校地域コーディネーター)

第5分科会 「学びと出会いをデザインする～行政・民間・市民を越境する『場』づくり～」

今、家や職場・学校とは別の「サードプレイス」への関心が高まっている中で、多種多様な「場」をつくる活動が生まれています。地域での出会いと学びの拠点である「場」の先進的な事例から、社会教育の枠組みにとらわれない広い視野での活動支援・場づくりの手法について学び、今後求められる必要な“公（みんな）”の「場」をどのように考え・つくり・多くの人と共有していくか、その可能性について考えます。

- ・事例報告 ①横山太郎さん（Co-Minkan 普及実行委員会 共同代表）
②川上和宏さん（(一社)地域デザインプラットフォーム／「大人の秘密基地 arcoiris」経営マネージャー）
- ・講演（ミニセミナー）「場と場所の違い／場づくりのチカラ」 長田英史さん（NPO 法人れんげ舎 代表理事）

15時30分～16時30分 **分科会で学んだこと・気づいたことを持ち寄るダイアログ**

- ・ファシリテーター：桜井高志さん（桜井・法貴グローバル教育研究所）

16時30分～17時30分 **まとめのダイアログ**

- ・ファシリテーター：牧野篤さん（東京大学大学院教授、本コンファレンス実行委員長）

18時～20時 **ネットワークを生みだす交流会（交流会費 2,500円）**

2018年 1月22日(月) 午前10時～：フィールドワーク「**現場で集う**」

- ・Aコース 国立市「国立市公民館の青年室と喫茶コーナー」（文部科学省公民館 GP 採択事業）
- ・Bコース 西東京市「まちの変化とひばりが丘公民館の地域づくり事業」
- ・Cコース 杉並区「大人がつながり創り出す、永福地域の子どもの支援」
- ・Dコース 和光市「大人の秘密基地 arcoiris」（アルコイリスカフェ）

